

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県水墨美術館 文化振興課

2 施設所在地
富山市五福777

3 施設設置年度
平成11 年度

4 設置目的
日本の風土と伝統の中で育まれた水墨画等の文化的所産を紹介し、県民の教養の向上及び文化の発展に寄与することを目的とする。

5 施設概要
①建物の構造 鉄筋コンクリート造、寄棟造り日本瓦葺平屋建
②敷地面積 14,547㎡
③建物面積 3,456㎡
④施設内容 常設展示室 298㎡ 企画展示室 576㎡ (288㎡×2)
映像ホール 131㎡ 図書室・情報コーナー 54㎡
茶室寄せ棟造り日本瓦葺平屋建建延面積 81㎡
庭園 約8,700㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
152,715	123,990	216,646	143,271	108,356

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
14,833	14,169	14,721	12,192	14,442

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

総利用者数は108,356人で、前年度に比べ34,915人(△24%)減少した。その大きな要因の一つは、実行委員会形式で開催する大型美術展が平成30年度は3回(利用者数合計47,625人)開催されたが、令和元年度は2回(利用者数合計26,243人)しか開催されなかったことによる。

観覧料収入は、指定管理業務で経理する美術展が平成30年度より1回増えたことにより、平成30年度比で2,249千円増となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・障害を持つ方や高齢者など、全ての来館者に対し、利用者の目線に立って快適なサービス(ユニバーサルサービス)を提供するため、サービス・ケア・アテンダント資格者(3名)を配置し、細やかな心遣いをもって明るく親切に接客した。
- ・ホームページの更新に加え、平成28年度から開設したSNSを活用し、美術館おすすめ情報として展覧会以外のイベント・情報などを発信した。
- ・平成30年度から、お年寄りや身体の不自由な方の歩行補助具として、手押し車を導入した。
- ・平成30年度から、トイレ個室に高齢者用おむつごみ箱を設置した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・「ひらけ漫画ワールド」展会期中の4/5～4/6の2日間、開館時間を20:00まで延長し、中庭のしだれ桜のライトアップを行い集客を図った。
- ・企画展の会期中に、エントランスホールにおいて音楽コンサート「とやま室内楽フェスティバル」、「二胡の音色にのせてコンサート」、「ミュージアムコンサート2019」を開催し、集客を図った。
- ・アーツナビシステムによる前売券の販売促進や、県内宿泊施設、公共施設、観光業者等に美術館年間スケジュール表や企画展のポスター・チラシ等を配布するなど、幅広く企画展のPRを行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・エントランスホール(正面入口付近) ・通年実施
回答者数	268名
結果	総合的な感想: 良い 74%、普通 24%、不満 2%
結果を踏まえた改善事項	来館者の苦情や疑問に、スタッフ全員が誠実に対応し、気持ちよく観賞していただけるよう心掛けている。

② その他利用者の声を反映させる取組み

スタッフ全員が来館者とのコミュニケーションを通じて直接意見・要望などを聞き取り、美術館運営に活かせるよう心掛けている。

③ 主な苦情と対応

「展示室内の照明が暗すぎる。」との苦情に対して、美術作品の保護のために照明を暗くしてある旨を理解していただけるよう監視員が丁寧に説明した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6) 関係団体との連携

中学校(2校)の「14歳の挑戦」、高校生(1校)の職場体験を受け入れ、開かれた美術館を目指した。

(7) 施設・設備の維持管理

・職員による日常点検及び専門業者による保守点検を実施し、故障等の問題が発生した場合など、迅速な修繕対応で、来館者に快適な観賞空間を提供している。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・非常時のマニュアルや連絡表を作成して、防災訓練を実施した。
・消火器や防災扉、避難通路など日常点検を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

開館して21年経過し老朽化による空調・給排水衛生設備等の故障が多くなってきている。平成30年度に近代展示室の湿度調節機及び展示室前廊下の温度調節機を修繕し、作品展示物の保全並びに来館者への快適な観賞空間の提供に努めた。しかし依然として対応を要する機械設備が多いため、日常点検や保守点検の指摘事項を踏まえた上で計画的に改修計画を行い、事前の対応を進める必要がある。

また、今後とも、特徴ある水墨美術館ならではの魅力をSNSなどを利用し広く県内外に発信し、引き続き来館者獲得に取り組むとともに、企画展以外のイベントも実施し、多様な層へのアプローチを行うことが必要である。